

2023年6月22日

「ベビー休憩室」や「ファミリートイレ」を新設！

【東武スカイツリーライン 越谷駅】 【東上線 ふじみ野駅】
子育て世代に配慮したお客様用トイレにリニューアル！

～ 地域の伝統文化や東武鉄道らしさを活かしたデザインにも注目！ ～

東武鉄道株式会社

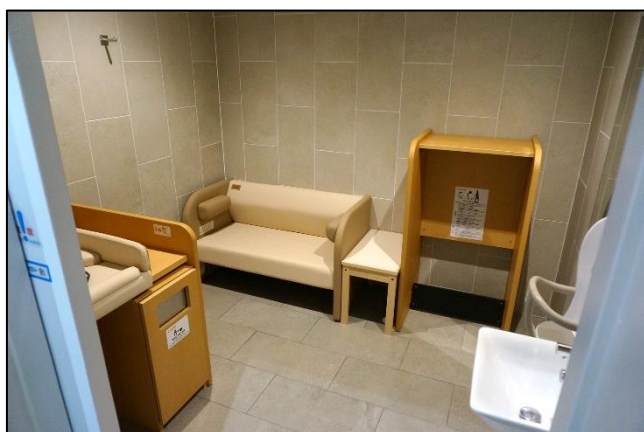
東武鉄道（本社：東京都墨田区、社長：根津嘉澄）では、2022年度より「東武スカイツリーライン 越谷駅」および「東武東上線 ふじみ野駅」のお客様用トイレのリニューアル工事を進めておりましたが、このたび工事が完了し、越谷駅は6月5日（月）、ふじみ野駅は5月19日（金）に供用開始しております。

今回のリニューアル工事では、子育て世代のお客様がお子様と共にご利用いただけるスペースおよび設備をご用意しております。従来から整備していた男性用トイレ、女性用トイレ、バリアフリートイレ（多機能トイレ）に加え、「ベビー休憩室」や「ファミリートイレ」を新設し、さまざまなお客様にご利用いただける空間に生まれ変わりました。

越谷駅では、授乳用ソファやおむつ交換台を備えた個室タイプの「ベビー休憩室」を新設し、乳幼児をもつ子育て世代に配慮したトイレにリニューアルしました。また地元企業にご協力いただき、越谷市の特産品である“籠染め（浴衣生地）”や“籠染灯籠”を外観デザインに取り入れ、地域の伝統文化継承に寄与するとともに、地域の方々により親しまれる駅を目指しました。

ふじみ野駅では、子どもトイレやおむつ交換台を備えた電車をモチーフにした「ファミリートイレ」を新設し、越谷駅同様に子育て世代に配慮したトイレにするとともに、子どもたちから親しまれるトイレにリニューアルしました。また、車いす用トイレを新設し、機能分散を図ることで、さまざまなお客様にとってご利用いただきやすい駅にしました。

当社では、今後も地域に親しまれ、お客様により快適にご利用いただけるよう、お客様用トイレのリニューアル工事を推進してまいります。概要は別紙のとおりです。



△越谷駅 ベビー休憩室内観

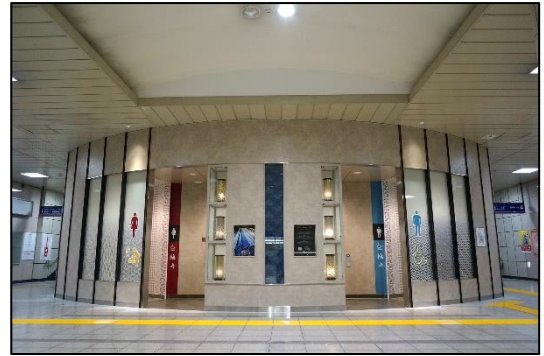


△ふじみ野駅 ファミリートイレ外観

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター TEL03-5962-0102

【東武スカイツリーライン 越谷駅】 お客様用トイレリニューアルの概要について

- 1 供用開始 2023年6月5日(月)
- 2 所在地 埼玉県越谷市弥生町4-11
- 3 設計会社 株式会社オー・エヌ・オー大野設計
- 4 施工会社 東武谷内田建設株式会社
- 5 規模・設備 87.8㎡(お客様用トイレ)
 - ・男性用トイレ(小便器4基、洋便器3基、手洗器3基)
 - ・女性用トイレ(洋便器3基、手洗器3基、パウダーコーナー1か所)
 - ※男性用・女性用に簡易型車椅子利用者対応便房を1か所ずつ整備
 - ・バリアフリートイレ(1室)、ベビー休憩室(1室)

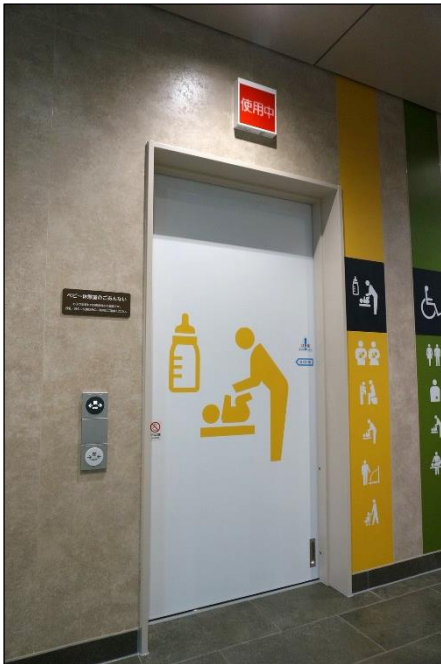


△お客様用トイレ外観

6 主なポイント

○ベビー休憩室

- ・個室タイプ(1室のみ)で、お子様連れのお客様専用の施設です。
- ・授乳用ソファを設置し、授乳が可能です。(調乳用温水器は設置していません。)
- ・おむつ交換台(ベビーベッド)の他、チェンジングボードにより立位でのおむつ交換も可能です。
- ・ベビーカー置き場を確保し、ベビーカーごと入室できます。
- ・ベビー休憩室の出入口前には、お連れ様用の木製ベンチを設置しています。



△ベビー休憩室出入口



△テーブル付き授乳ソファ



△おむつ交換台・チェンジングボード



△ベビーカー置き場・ベビーチェア



△ベビー休憩室前の木製ベンチ

○男性用トイレ・女性用トイレ

- ・すべての便房に洋式トイレを採用しています。
- ・男女各1か所ずつ整備した簡易型車椅子利用者対応便房内に、折り畳み式ベビーシートを設置しています。



△便房(洋式トイレ)



△小便器



△簡易型車椅子利用者対応便房

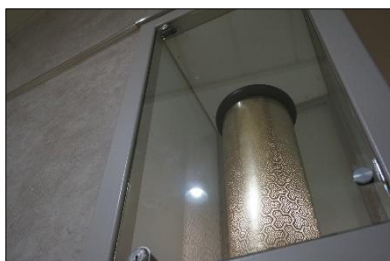
○越谷市の特産品である“籠染め（浴衣生地）”および“籠染灯笼”を活かした外観デザイン

地域の方々により親しまれる駅を目指して、地元企業のハナブサデザインと中野形染工場のご協力のもと、地域の特産品を活かした外観デザインを採用しました。正面の布生地は、中野形染工場より提供いただいた“籠染め※”の貴重な反物です。また、籠染めに使われた型（籠）から生まれた“籠染灯笼※”を出入口付近に配置し、トイレを利用されるお客様を優しく迎え入れます。

また、外観ガラス面や通路壁面に籠染めのデザインを取り入れたほか、浴衣地を天日に干す当時の風景写真、“籠染め”および“籠染灯笼”の説明板を設置しています。



△お客様用トイレ外観



△籠染灯笼



△通路壁面



△外観ガラス面



△展示写真（当時の風景）



△説明板

※“籠染め”および“籠染灯笼”について

籠染めは、真鍮製の筒状の型を利用し2つの型間に生地を送り、生地を表裏に異なる柄を糊付けして染めることができる藍染めの技法で、かつて越谷周辺では数社が籠染めを生業としていました。

籠染灯笼は、日本最後となった中野形染工場（現在は休業）の籠染めで実際に利用されていた貴重な真鍮製の型をそのままの状態で使用した内照式のオブジェです。

（詳細はリンク先参照 [籠染灯笼-KAGOZOME LANTERN | HANABUSADESIGN](#)）

【参考（地域との連携）】

今回の当社の取り組みにあわせて、越谷駅東口の観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」では、6月30日まで籠染灯笼の特別展示（点灯）を実施しています。（雨天・荒天時は除く）

また、旧日光街道の商店会（新町商店会：会長 井橋 潤氏）では一部の店舗で展示・点灯しています。

【東上線 ふじみ野駅】 お客様用トイレリニューアルの概要について

- 1 供用開始 2023年5月19日（金）
- 2 所在地 埼玉県富士見市ふじみ野東1-26-1
- 3 設計会社 有限会社設計事務所ゴンドラ
- 4 施工会社 東武谷内田建設株式会社
- 5 規模・設備 79.2㎡（既存トイレリニューアル）、30.8㎡（電車型ファミリートイレ）

【既存トイレリニューアル】

- ・男性用トイレ（小便器4基、洋便器2基、手洗器2基）
- ・女性用トイレ（洋便器4基、手洗器2基、パウダーコーナー2か所）
- ※男性用・女性用に簡易型車椅子利用者対応便房を1か所ずつ整備
- ・車いす用トイレ（1室）

【電車型ファミリートイレ】

- ・子どもトイレ（小便器1基、洋便器1基）、おむつ交換台2か所、バリアフリースイートイレ（1室）

6 主なポイント

○ファミリートイレ

- ・子ども用小便器、洋便器およびおむつ交換台を2箇所設置しています。
- ・ベビーカー置き場を確保し、ベビーカーごと入室できます。



△ファミリートイレ内観



△子ども用大便器



△子ども用小便器



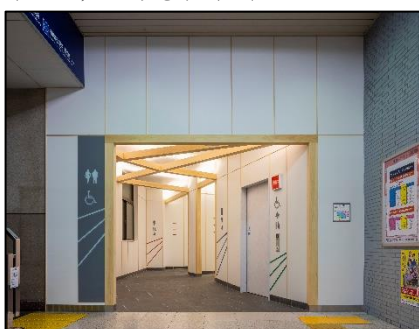
△おむつ交換台



△バリアフリースイートイレ内観

○木材を多く取り入れた温かみのあるデザイン

駅を利用するお客様にとって、自宅最寄り駅＝ホームステーションとなります。ふじみ野駅のトイレは、自宅のトイレのようにホッと利用できるように、天井・壁面に木材を多く取り入れた温かみのあるデザインとしました。



△旅客トイレ外観



△旅客トイレ内観



△車いすトイレ内観